

図 1

第 24 回山片蟠桃賞
受賞記念講演会 講演図録

受賞者 ピーター・コーニツキー氏
(英国・ケンブリッジ大学教授)

2013年6月24日講演



図 2

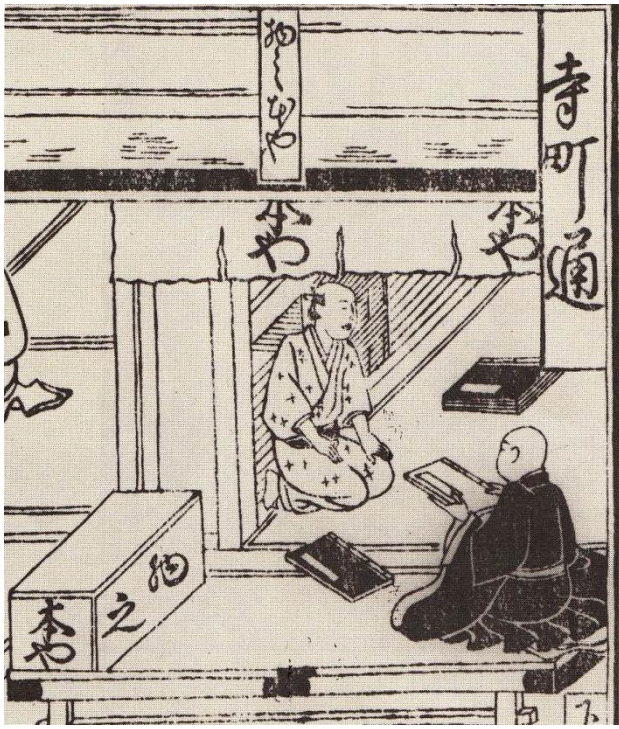


图 3



图 4

丁七	天台宗	諸經註 論義書
丁北六	當宗	
丁北八	俱舍	
丁北九	律宗	
丁北一	華嚴	
丁北二	法相	
丁北四	真言	
丁五十	禪家	洞家 濟家
丁六十	淨土	
丁八十	一向宗	
	目錄	

图 5

丁八十	假名佛書	諸宗法書 國錄抄 佛書
丁九十	儒書	經書 歷代 道書 傳記 古事
丁百一	文集	并書簡
丁百二	詩并連句	并字書
丁百三	韻書	
丁百四	神書	并有職
丁百五	曆書	并古書
丁百六	軍書	并兵法書 古書 鐵炮書 馬書
丁百七	醫書	
丁百八	假名和書	五常書 孝書 教訓書
丁百九	歌書	并物語
丁百十	連歌書	
丁百十一	俳諧書	
丁百十二	女書	
丁百十三	謡本	謡抄 鼓抄 狂言
丁百十四	箏書	
丁百十五	盤上書	
丁百十六	茶湯書	并華書

图 6

冊三	冊四	冊卅	冊十二	冊十四	冊十八	冊十		六冊	六冊
同條箇科	同音義	同私記	同讀教記	同補注	同科文	同無點	本末 智者大師述 沙門湛然述	玄義 止觀 文句	天台三大部 点付
		天台沙門 證真撰	天台晦嚴 法照述	永嘉沙門 釋從義述	沙門湛然述				

图 7

冊一	冊一	冊一	冊一	冊一	冊一	冊二	冊一	冊一	冊一	冊一
如意法經	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林	法苑珠林
		同作	同作	同作	同作	同作	同作	同作	同作	同作

图 8

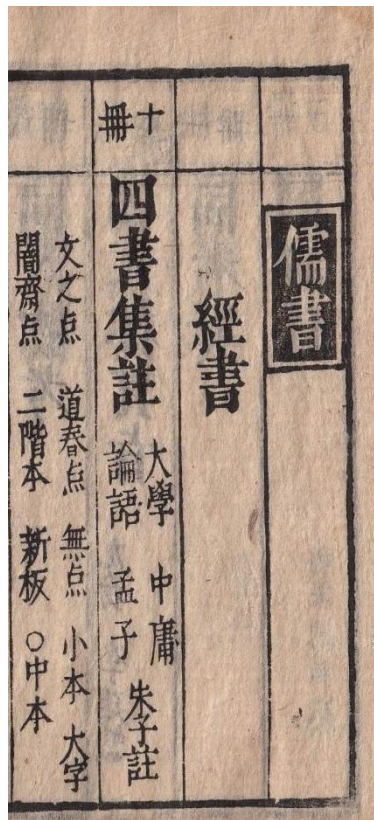


図 9

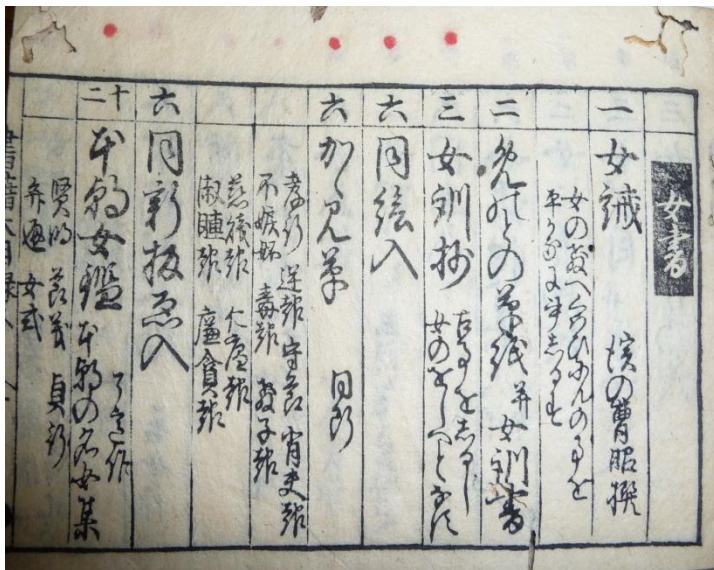


図 10

图 11

善理達慶 祖庭又見 第三達慶大師 欲逐天竺 人曰時時至 已汝奇甚 言所傳 千持道 計曰此見不
離文字 亦觀文字 而為道用 師曰汝得吾皮 上最後竟 可禮拜 依位而立 師曰汝得 我體 豈傳不難

外道 妙字時 道之德 又
道名 妙而難思 議故也
真身 六祖 揚五祖 於
黃梅 法乳 相授 傳真
身於 傳以 報善 之功
登壇 于時 五祖 同示
法傳 有之
祝發 賀得 傳到 徒教
頂相 堂 止 以 善 賢 賢
則 則 去 賢 徒 故 徒 徒
不 不 不 不 不 不 不 不
不 不 不 不 不 不 不 不
不 不 不 不 不 不 不 不

六祖法寶壇經序

妙道虛玄 不可思議 忘言得旨 端可悟明 故世
尊分座於多子塔前 拈華於靈山會上 似火與
灰 以心印心 西傳四七 至菩提達磨 東來此土
直指人心 見性成佛 有可大師者 首於言下 悟
入 末上三拜得髓 受衣 紹祖開闡 正宗三傳 而
至黃梅 會中高僧 七百 惟負春居士 一偈傳衣
為六代 祖南遷 十餘年 一旦以非風 旛動之機
解門 印宗 平眼 居士 由是祝髮 登壇 應跋陀羅

図 12

大豆をとりり、黄白黒
 種に区あり けいふぶのたれ形
れまうまに平まき
かさまぐん丸
又つる太助あり 又かきさるなるもあ
 り。ば内黄白の二もことな
 秋のふとつけとち作るす
 なり。赤強大豆に返してとて。豆乃粒のあつ去いれかま
 ともあり。○ 種は何時なる。三月と向とと向と。四月と向
 と下向と。秋大豆は又月中旬より。六月と向と。五月と向
 他より年々種は あひひ
あひひ して。六月十日の期があるべし。極く肥地
 の深さ あひひ
あひひ ぬき あひひ
あひひ して あひひ
あひひ 又地はれ

大豆




図 13

んほもる こころ と種 こころ を抜んとて
 うけたれとも あひひ 深 あひひ なる あひひ せう あひひ
 ふふす あひひ を あひひ せう あひひ なる あひひ せう あひひ
 せう あひひ なる あひひ せう あひひ なる あひひ せう あひひ
 せう あひひ なる あひひ せう あひひ なる あひひ せう あひひ
 せう あひひ なる あひひ せう あひひ なる あひひ せう あひひ

仙北鐵治町
長興堂
臺